

なんば喫煙所について

なんば喫煙所（マルイ前）

平成19年10月30日供用開始



平成19年7月に御堂筋及び大阪市役所・中央公会堂周辺地域を禁止地区に指定した際に設置。

「なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン（案）」について、パブリック・コメントが実施され、喫煙所についても意見がありましたので、その結果を踏まえ、なんば喫煙所も含めたなんばエリアにおける喫煙者と非喫煙者が共存できる環境の整備について検討が必要。

なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン（案）について

パブリック・コメント実施結果

- ・意見受付期間：令和4年6月1日（水）～令和4年6月30日（木）
- ・実施結果：受付通数47通（意見総数151件）の内、
 - たばこに関する意見は、27件
 - 【整備イメージ（喫煙スペース含む）】 1件
 - 【喫煙所】 17件
 - 【ごみ箱・喫煙所】 7件
 - 【たばこ税】 2件
- ・ご意見と本市の考え方（抜粋）は、別紙参照

ご意見の要旨と本市の考え方（たばこに関する部分抜粋）

ご意見の要旨	本市の考え方
【整備イメージ】1件 ・「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」で示された「上質な設え」が継承された内容は評価できる。世界の主要都市においても、上質な空間整備が新たな利用方法を誘導している事例が多い。駅前広場においても、大阪のおもてなし玄関口にふさわしい素材やデザインを取り入れるとともに、滞留性を高める施設（休憩や喫煙のスペース等）や照明、樹木等のみどりについても、ワールドクラスの美しさを備えるものを整備されたい。	なんば駅前広場は、人が美しく見える舞台として、上質感・落ち着きを感じさせる空間をめざすこととしております。 いただいたご意見を参考に、なんば駅前広場において新たな大阪のシンボルとなる空間の創出を図ってまいります。
【喫煙所】17件 ・「休憩する、くつろぐ、飲食する、イベントやパフォーマンスを楽しむなどの行動ができる環境にない」とあるが、ここで一服することで、まちを長時間堪能でき、消費につながるという側面もある。なんば駅前広場には、海外からの観光客にもわかりやすい喫煙所を設けてほしい。 ・私は喫煙者ですが、整備にあたり喫煙所をもっと大きく、見晴らしのいい場所に整備してほしい。快適に喫煙できるようベンチ・屋根等も整備してほしい。整備面積が広いため、3～4か所は喫煙所を整備してほしい。 ・車中心の空間から人中心の空間へ再編するとの発想は大賛成です。現在のたばこ広場も当然残して整備してもらいながら、もう一か所増設整備をお願いします。駅前広場でたばこを吸いながら休憩し、待ち合わせをし、友人と語らう、駅前広場で全ての人々が憩え、やすらぎの時間を過ごせる空間になるよう願っています。 ・喫煙所について明確にしてほしい。非喫煙者にも迷惑をかけないように、喫煙場所の整備を検討いただきたい。また、喫煙所を作る際も、今回の計画に即したようななんばらしいものを希望します。 ・休憩できる滞留スペースについて、喫煙所の事が触れられておらず、今ある喫煙所がどうなるのか心配です。喫煙所を整備しないと、隠れて喫煙したりする事で、火災などのリスクやゴミ等の環境問題も出てくる。喫煙所はしっかりと残して欲しい。 ・「広場内に適切に休憩等の滞留施設を備え」とありますが、喫煙所について一切記載がありません	本市では、市民の皆様の安心、安全及び快適な生活環境を確保することを目的として、平成19年4月に「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」（以下「条例」という。）を施行しております。条例では、路上喫煙による被害が特に発生するおそれがあると認める区域を禁止地区として指定できると定めております。 また、大阪市路上喫煙対策委員会（以下「委員会」という。）より、禁止地区指定に際には、禁止地区内若しくは禁止地区に隣接する所にマナーを守った喫煙場所の確保が必要であるとの提言を受けており、なんば駅前広場の喫煙所は、平成19年7月の御堂筋・大阪役所中央公会堂周辺地域の禁止地区指定に伴い、委員会の提言に基づき設置し、平成19年10月30日から供用を開始しております。 本市は、2025年大阪・関西万博の開催に向けて、路上喫煙の全市域禁止に取り組んでいるところで、喫煙者而非喫煙者が共存できる環境の整備も重要な課題と考えております。 路上喫煙の全市域禁止については、路上喫煙の防止の推進に関して調査審議頂いている委員会で見意見を頂戴しながら、審議検討を進めていくこととしており、なんばエリアにおける喫煙者而非喫煙者が共存できる環境の整備についても、「なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン（案）」に対するパブリック・コメントの意見も参考にしながら、委員会において、十分に審議・検討していただきながら進めてまいります。

ご意見の要旨	本市の考え方
ん。現在も喫煙所が設置されており、私はたばこを喫いますので、必ず喫煙所の設置をお願いします。 ・「シンボル空間創出の方針」とあるが、シンボルとなるような喫煙所にして頂きたい。 ・なんさん通りは駅前広場と連続しており、なんさん通りにも喫煙所の設置が必要と考えます。 ・難波周辺は路上喫煙禁止地区になっており、なんば駅前広場の喫煙所が唯一喫煙者にとってくつろげる場所になっています。たばこを吸わない方に迷惑にならないようなシンボリックな喫煙所の設置を要望します。また、喫煙所がないなんさん通りにも整備してもらいたい。 ・駅前広場にある喫煙所を時々利用していますが、整備プランには喫煙所のことが触れられていません。喫煙所が無くなるのではないかと懸念しております。人通りも多く吸い殻のポイ捨ても多くなるのではないかと思います。是非存続させてください。 ・私は喫煙者ですので、今ある喫煙場所が不当な扱いを受けることがないようにお願いしたい。世界では、日本と違い屋外での喫煙は緩やかです。海外から来たお客様には喫煙者も多くいるかと思います。日本では、喫煙者も非喫煙者も互いの立場を尊重し、マナーを守ることによって迷惑をかけないという日本の考え方（多様な価値観の尊重）を理解していただく必要があると思います。そのためにも、分煙マナーの啓発を行うと共に、定められた場所での喫煙場所の整備は必要と考えます。 ・喫煙規制に関する記述はありませんが、外国人観光客も多く来阪することも想定されることから、喫煙スペースは、確保する必要があると考えます。まち並みに合わせて、十分にくつろげる広さの物を設置される事を望みます。 ・「上質なおもてなしの空間づくり」と記載されていますが、現状の喫煙所はそのまま維持されるのか。私は愛煙家ですが、ポイ捨てや歩きタバコは許せない。なんばの喫煙所は仕事の行きかえりによく利用しており、私にとって心の整理をするには重要な場所だ。ぜひ、そのまま残して欲しい。海外では基本、屋外はどこでも喫煙でき、屋内は完全禁煙の国が多い。海外からの観光客を大阪の玄関口としてシンボル性のある広場でおもてなしするためにも、しっかりと区画された大阪らしい喫煙所を整備する事により、海外からの人がおもてなし日本のルールを学び、感動と思う。それがSNSで拡散され、大阪の良い印象が広まり、また他の人が来てくれるという相乗効果を生み出すと思う。 ・タバコを吸う者にとって、駅前にある喫煙所はとてものありがたい場所です。周りの目を気にしないで、ゆっくりタバコを吸える場所を残してください。 ・世界に誇れるなんば広場をめざしていくために、地域等の理解を得た上で喫煙所の在り方を検	

ご意見の要旨	本市の考え方
討してほしい。 ・既存の喫煙所は撤去が望ましい。 ・世界のおもてなし玄関口にふさわしい場所となるよう、喫煙所はなくしてほしい。	
【ごみ箱・喫煙所】7件 ・御堂筋が喫煙禁止のため、いつも難波の喫煙所でたばこを吸ったり、待ち合わせ場所としてよく利用しています。本整備プランには賛成ですが、既存施設である「喫煙所」についても存続していただくよう強く希望します。この喫煙所は多くの利用者があり、無くなってしまうと喫煙される方たちは何処で吸えばよいかわからない。周辺の路地裏等での喫煙が増えて、かえって吸殻のポイ捨てが増えてしまう懸念があります。今後、運営等は民間に任せるとのことですが、大阪市の指定喫煙所が無くなってしまうことは行政サービスの低下であり、たばこを吸う人を排除するような短絡的な整備ではなく、国際観光都市として、諸外国の人も気兼ねなくたばこが吸える、多様な価値観が認められる環境が整備されることを切に希望いたします。 ・一步裏に入れば吸い殻だらけということが無いように、大阪の新たなシンボルになるエリアに相応しい喫煙場所を複数、十分に設置してください。 ・多様性を重視しゴミのない大阪をめざすためには、喫煙所は必要であるとする。 ・世界の人々が集まりますので、「ポイ捨て」等なくすため、喫煙場所の確保を検討してほしい。 ・駅前に滞在する人が増えることで、これまで以上にゴミやたばこのポイ捨てが増えると考えられます。未就学児の子供と遊びに行きたいと考えていましたが、道が汚く、たばこが落ちていくところに行くのは嫌です。ゴミを捨てない仕組みやたばこのポイ捨てができないような取り組みを検討してほしいです。子供の目線の高さにたばこがくると歩きたばこは絶対に許されないのです、たばこは指定の場所で吸うよう徹底してほしいです。 ・清掃も大切ですが、いつも清掃できる訳ではないので、それ以前にきちんと捨てることのできるごみ箱や灰皿の設置もおなじく重要と思います。なんば駅だけではなく、捨てる場所がなく困ることが多いですし、ポイ捨ても減らないのではと思います。 ・表舞台になる地域は、見栄えが良くなるが一步裏道に入ると狭く、くささが漂い衛生的に良さが無い。下水の整備、照明の明るさやゴミ処理もお願いしたい。地下街も地域の雰囲気が保たれるような配慮を望む。喫煙者の空間は必ず設けてほしいし、開けた空間で吸殻を隅に隠さないような設計にしてほしい。地域条例でゴミのポイ捨て、つばたんを吐く、チューイングガムの持ち込み飲食禁止など罰金対象地域としてほしい。シンガポールの衛生管理を望む。	「ごみ箱の設置」につきましては、本市におきましても、以前、公衆用ごみ容器を街中に多数設置しておりましたが、当該ごみ容器を設置することにより、家庭の生ゴミや事業活動に伴うゴミがごみ容器周辺にまで多量に排出されるようになるなど、かえって散乱ゴミを生み、まちの美観を損ねる原因となっているといったご意見が多く寄せられたことに加え、防犯上の理由などから、平成22年3月を目途に原則撤去してきたところです。 本市としましては、「清潔で美しいまちづくり」を実現するためには、公共の場におけるモラル・マナーの向上に向けて、行政や地域・事業者等が一体となって啓発等の取り組みを進めることが重要であると考えており、引き続き、ポイ捨て防止に向けた啓発活動に取り組んでまいります。

ご意見の要旨	本市の考え方
【たばこ税】2件 ・大阪は喫煙場所が少なすぎて未だに吸い殻のポイ捨てがなくなりません。駅周辺に一カ所位きれいな喫煙箇所を整備して頂いて、癒しの場所として貴重なたばこ税を有効に使って頂きたい。 ・条例などが厳しく外の空間でも喫煙ができない（特に街中）という状況なので、是非ともシンボリックな快適な喫煙所を作っていただき、多様な交流や滞在が生まれる広場になって欲しい。たばこ税がどんどん値上げとなりその収益の一部は喫煙者のために是非とも活用をお願いしたい。快適な喫煙所が有ることで、ポイ捨て防止などに喫煙しない人も棲み分けが出来快適な空間が生まれると思う。	市たばこ税は、いわゆる目的税（使いみちが決められた、特定の経費にあてられる税金）ではなく、普通税（使いみちを特定しないで、一般経費にあてられる税金）であることから、一般的な財源として、市の様々な施策・事業に広く活用させていただいております。 大阪市では、市民の皆様の安心、安全及び快適な生活環境を確保することを目的として、平成19年4月に「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」（以下「条例」という。）を施行しております。 この条例では、市民等の責務として、「道路、広場、公園その他の公共の場所で、自ら路上喫煙をしないように努め、互いに協力して路上喫煙の防止のための活動に積極的に取り組むとともに、本市が実施する施策に協力するよう努めなければならない。」と規定するとともに、現在6地区を路上喫煙禁止地区に指定し、路上喫煙防止指導員が巡回し、路上喫煙を現認した場合は、過料（1,000円）を徴収しております。 本市は、2025年大阪・関西万博の開催に向けて、路上喫煙の全市域禁止に取り組んでいくこととしており、今後、路上喫煙の市内全域禁止の実施に向けて、分煙環境を整えるための喫煙所の整備について検討を行ってまいります。

大阪市計画調整局・建設局

- 大阪の南の玄関口の重点エリアとして、世界の都市間競争に打ち勝つため、都市魅力の向上や活性化を推進する必要がある
- 多くの来街者が行き来する駅前広場の課題を改善するため、地元発意で空間再編の検討を開始し、地元・経済界・行政で検討
- まちづくり協議会の設立、官民の空間再編基本計画の策定を経て、2018[H30]年度から大阪市が予算化し事業を推進

[illegible]

社会実験の結果

```

graph LR
    A[①最も求められているのは「憩いの空間」であること。] --> C[憩いの空間が生まれる]
    B[②それを実現するには「上質な設え」が整備されることが前提条件。] --> C
    D[③ひろばで行われるイベントや店舗、その他のコンテンツは  
その「居心地を更に向上させる」仕掛けである。] --> E[居心地を更に向上させる]
    F[④観光案内所を仕掛けに、広場から人々をまちへ回遊させる  
好循環をうみだす。] --> E
    E --> G[なんばを回遊させる]
    G --> H[まちへの滞留時間を長くする]
    C --- I[上質な設え]
    E --- J[イベント、飲食店など]
    G --- K[観光案内所内、地域イベントPR]
  
```

①最も求められているのは「**憩いの空間**」であること。

②それを実現するには「**上質な設え**」が整備されることが前提条件。

③ひろばで行われるイベントや店舗、その他のコンテンツは
その「**居心地を更に向上させる**」仕掛けである。

④観光案内所を仕掛けに、広場から人々をまちへ回遊させる
好循環をうみだす。

憩いの空間が生まれる

上質な設え

居心地を更に向上させる

イベント、飲食店など

なんばを回遊させる

観光案内所内、地域イベントPR

まちへの滞留時間を長くする

[illegible]

※今後関係機関との協議により内容を変更する可能性があります

4 整備計画

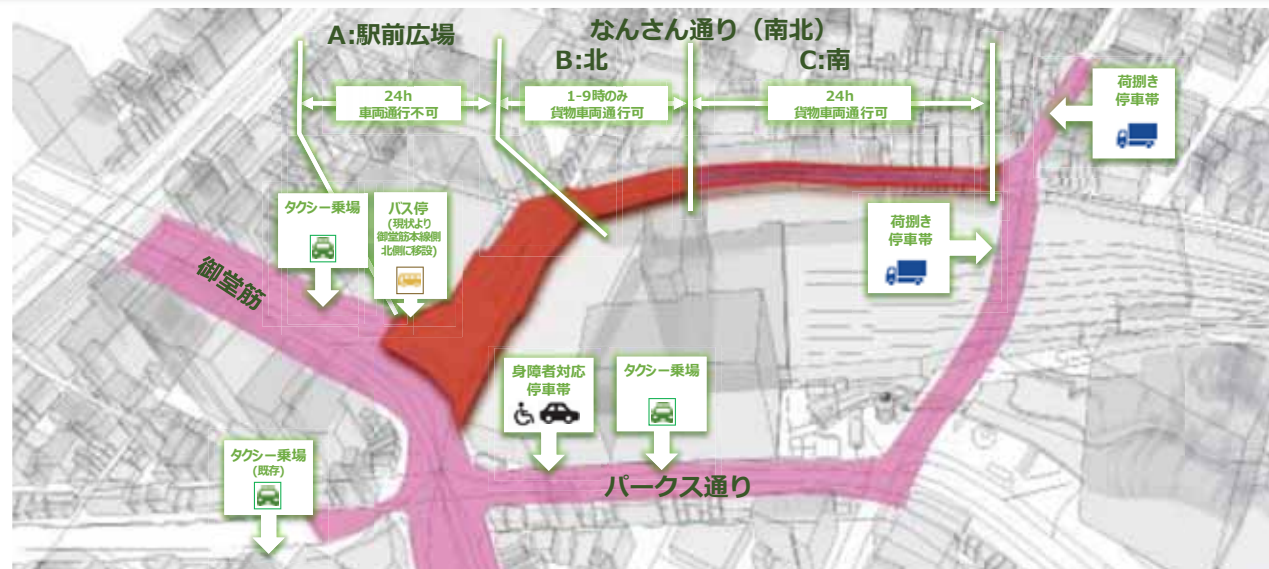
(1)全体計画

①：交通機能の再配置と滞留空間の創出

- ・駅前広場付近は歩行者が滞留可能な空間
- ・駅前のバス・タクシーを再配置

②：荷捌き機能の確保

- ・なんさん通り(南北)の乗用車は通行禁止
- ・貨物車両は1－9時通行可能
- ・周辺に荷捌き停車帯を設置



(2)区間・エリアごとの整備計画

①：駅前広場

- ・中央は利活用エリア、外周部は歩行者の通行空間を確保し、憩いの空間と日常のにぎわいを両立
- ・人が美しく見える舞台として、上質感・落ち着き感を感じさせる空間を形成

②：なんさん通り(南北)

- ・駅前広場と連続した高質性を感じながら、歩いて楽しい歩行者重視の安全・安心な空間を創出



5 持続的な維持管理に向けて

基本的な考え方

- ・再編後の道路空間の持続的な発展のため、行政と適切に役割分担を行いながら、民間のエリアマネジメント組織が担い手となる管理・運営をめざす。
- ・地域・企業や既存のまちづくり団体と連携

(1)諸制度の活用

- ・隣接する御堂筋と同様に、「歩行者利便増進道路(ほこみち)」指定を検討

(2)荷捌きなどの交通ルールの運用

- ・沿道の実態に即した荷捌きルールを自主的に運用

(3)地域環境保全の取組

- ・清掃や駐輪対策

官民共同

- ・ビジョン共有
- ・都市魅力の創出

官

- ・制度活用の支援
- ・【民】と連携した維持管理

民

- ・地域に還元する自律的なマネジメント
- ・広場・道路空間の環境維持
- ・地域ルールの運営(荷捌き・利活用・景観)

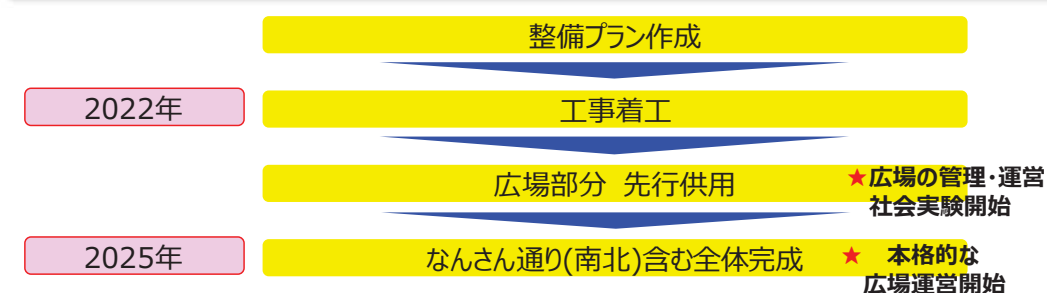
6 当面の進め方

(1)整備スケジュール

- ・全体整備は2025大阪・関西万博に向けて実現

(2)広場の管理・運営

- ・広場の先行供用から全体完成や万博の期間を活用し、社会実験の実施を検討



7 今後の検討事項

(1)道路空間と沿道地域の連携

- ・公共空間と隣接する民地が一体的に、多様な人々が集う交流・滞在空間を創出することで、道路空間再編の意義や効果が一層高まると考えられるため、沿道との効果的な連携について、引き続き検討

(2)利活用に関する地域ルール

- ・ガイドラインなど自主的なルールにより、道路空間上の広告物や設置物を自主的に審査。利活用や景観・デザイン等を継続的に高質化し、エリア価値を向上

(3)世界をひきつける観光拠点づくり

- ・文化・歴史・芸術・エンターテインメントなどの情報発信機能について、引き続き検討

(4)防災拠点としての活用に関する検討

- ・情報発信機能を用いた屋外滞留者に対する情報伝達・案内誘導などを検討

(5)地域連携による回遊性の向上 (6)なんさん通り東西区間の整備

- ・なんさん通り東西区間は、空間再編による荷捌き活動の負荷の影響軽減のため、車道の一方通行化などによる歩道拡幅や無電柱化などの歩行環境の改善を検討
- ・交通影響の分析や沿道・周辺地域の理解・合意形成が必要

